

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施。）。

期日 平成24年4月1日から6月30日までの間に実施された、学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査。

3 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。

なお、調査実施校数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	学校（園） 総数	児童等総数	調査実施学 校（園）数	発育状態調査		健康状態調査	
				調査対象者（人）	抽出率（%）	調査対象者（人）	抽出率（%）
幼稚園	122	3,156	30	976	30.9	1,108	35.1
小学校	323	69,759	59	5,362	7.7	21,719	31.1
中学校	170	39,374	39	4,396	11.2	14,530	36.9
高等学校	85	40,042	28	2,479	6.2	17,820	44.5
計	700	152,331	156	13,213	8.7	55,177	36.2

注1：発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

注2：学校（園）総数及び児童等総数は平成24年度学校基本調査結果速報（青森県分）による。

注3：幼稚園の児童等総数は「5歳児」のみの人数である。

4 調査事項

(1) 児童等の発育状態（身長、体重及び座高）

(2) 児童等の健康状態（栄養状態、せき柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

《利用上の注意》

(1) この速報は、文部科学省がまとめた「平成24年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「平成24年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。

(2) 年齢は、平成24年4月1日現在の満年齢である。

(3) 統計表の中の記号

「－」 該当者がいない場合

「…」 調査対象とならなかった場合

「0.00」 計数が単位未満の場合

(4) 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

II 調査結果の概要

A 発育状態

1 身長

男子は全年齢で、女子は16歳を除いた各年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では11歳及び13歳の1.8cm、女子では8歳の1.7cmとなっている。

- ① 女子の5歳の数値は、これまでの最高値となっている。
- ② 男子は5歳、7歳、9歳、15歳、17歳、女子は5歳、8歳、9歳で全国第1位となっている。
- ③ 最大の年間発育量は、男子は11歳から12歳時及び12歳から13歳時の7.5cm、女子は、6歳から7歳時及び7歳から8歳時の6.5cmとなっている。

表1 身長の平均値

区分	年齢	身長 (cm)								
		青森県での調査人数	平成24年度 (青森県) A	平成23年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成24年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	495	111.4	110.9	0.5	-	110.5	0.9	1
	小学校	6歳	448	116.9	117.2	-0.3	6.0	116.5	0.4	6
		7歳	427	123.4	123.5	-0.1	6.2	122.4	1.0	1
		8歳	449	129.0	129.1	-0.1	5.5	128.2	0.8	3
		9歳	456	134.8	134.0	0.8	5.7	133.6	1.2	1
		10歳	451	140.3	140.1	0.2	6.3	138.9	1.4	2
	中学校	11歳	455	146.8	146.6	0.2	6.7	145.0	1.8	2
		12歳	725	154.1	153.8	0.3	7.5	152.4	1.7	2
		13歳	736	161.3	161.2	0.1	7.5	159.5	1.8	2
	高等学校	14歳	743	166.6	166.5	0.1	5.4	165.1	1.5	2
15歳		409	169.5	169.6	-0.1	3.0	168.4	1.1	1	
16歳		415	170.4	170.2	0.2	0.8	169.8	0.6	7	
17歳		416	172.0	171.9	0.1	1.8	170.7	1.3	1	
女	幼稚園	5歳	481	<u>111.1</u>	110.2	0.9	-	109.5	1.6	1
	小学校	6歳	437	116.4	116.1	0.3	6.2	115.6	0.8	3
		7歳	441	122.6	122.6	0.0	6.5	121.6	1.0	2
		8歳	453	129.1	128.5	0.6	6.5	127.4	1.7	1
		9歳	450	134.9	135.2	-0.3	6.4	133.4	1.5	1
		10歳	445	141.5	142.0	-0.5	6.3	140.1	1.4	2
	中学校	11歳	450	147.9	148.3	-0.4	5.9	146.7	1.2	3
		12歳	721	152.8	152.7	0.1	4.5	151.9	0.9	3
		13歳	725	155.7	155.7	0.0	3.0	155.0	0.7	4
	高等学校	14歳	746	157.0	156.9	0.1	1.3	156.5	0.5	5
		15歳	408	157.6	157.4	0.2	0.7	157.2	0.4	5
		16歳	416	157.5	157.9	-0.4	0.1	157.6	-0.1	23
		17歳	415	158.4	158.2	0.2	0.5	158.0	0.4	7

(注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。(過去最高値と同数の場合も含む。)

2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の6.7cmは、146.8cm(24年度の11歳の数値) - 140.1cm(23年度の10歳の数値)で求められる。

2 体 重

男女とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では17歳の3.1kg、女子では15歳の2.1kgとなっている。

- ① 男子は5歳、7歳、14歳、17歳、女子は5歳、8歳、9歳、11歳、13歳、15歳で全国第1位となっている。
- ② 最大の年間発育量は、男子は11歳から12歳時の5.9kgとなっている。
女子は、10歳から11歳時の5.0kgとなっている。

表2 体重の平均値

区 分	年 齢	体 重 (kg)								
		青森県 での調 査人数	平成24年度 (青森県) A	平成23年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成24年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	495	19.5	19.4	0.1	-	18.9	0.6	1
		6歳	448	22.0	22.1	-0.1	2.6	21.3	0.7	4
	小学校	7歳	427	25.0	25.1	-0.1	2.9	24.0	1.0	1
		8歳	449	28.2	28.5	-0.3	3.1	27.1	1.1	4
		9歳	456	32.1	31.7	0.4	3.6	30.5	1.6	3
		10歳	451	36.1	36.1	0.0	4.4	34.0	2.1	2
		11歳	455	40.5	40.6	-0.1	4.4	38.2	2.3	3
	中学校	12歳	725	46.5	46.3	0.2	5.9	44.0	2.5	2
		13歳	736	51.4	51.6	-0.2	5.1	49.0	2.4	2
		14歳	743	56.9	56.9	0.0	5.3	54.2	2.7	1
	高等学校	15歳	409	61.3	61.3	0.0	4.4	59.2	2.1	2
		16歳	415	62.9	63.4	-0.5	1.6	61.1	1.8	2
		17歳	416	66.0	64.9	1.1	2.6	62.9	3.1	1
女	幼稚園	5歳	481	19.3	19.2	0.1	-	18.5	0.8	1
		6歳	437	21.5	21.2	0.3	2.3	20.9	0.6	3
	小学校	7歳	441	24.4	24.3	0.1	3.2	23.5	0.9	2
		8歳	453	27.7	27.5	0.2	3.4	26.3	1.4	1
		9歳	450	31.7	32.0	-0.3	4.2	29.9	1.8	1
		10歳	445	35.7	35.9	-0.2	3.7	34.0	1.7	2
		11歳	450	40.9	41.4	-0.5	5.0	38.9	2.0	1
	中学校	12歳	721	45.7	45.3	0.4	4.3	43.7	2.0	2
		13歳	725	49.1	49.0	0.1	3.8	47.4	1.7	1
		14歳	746	51.5	50.9	0.6	2.5	49.9	1.6	2
	高等学校	15歳	408	53.7	53.1	0.6	2.8	51.6	2.1	1
		16歳	416	53.1	53.0	0.1	0.0	52.5	0.6	15
		17歳	415	53.4	53.9	-0.5	0.4	52.9	0.5	13

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の4.4kgは、
40.5kg(24年度の11歳の数値) - 36.1kg(23年度の10歳の数値) で求められる。

3 座 高

男女とも全年齢で、全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では13歳の1.3cm、女子では8歳の0.9cmとなっている。

- ① 男子の13歳、14歳、15歳、17歳、女子の14歳、15歳、17歳の数値は、これまでの最高値となっている。
- ② 男子は5歳、7歳、13歳、15歳、17歳、女子は5歳、8歳、15歳で全国第1位となっている。
- ③ 年間発育量が最大なのは、男子は12歳から13歳時の4.0cmとなっている。女子は、10歳から11歳時の3.1cmとなっている。

表3 座高の平均値

区 分	年 齢	座 高 (cm)								
		青森県 での調 査人数	平成24年度 (青森県) A	平成23年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成24年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	417	62.4	62.2	0.2	-	61.9	0.5	1
	小学校	6歳	448	65.1	65.4	-0.3	2.9	64.8	0.3	4
		7歳	427	68.2	68.2	0.0	2.8	67.6	0.6	1
		8歳	449	70.7	70.8	-0.1	2.5	70.3	0.4	4
		9歳	456	73.2	73.0	0.2	2.4	72.6	0.6	2
		10歳	451	75.5	75.7	-0.2	2.5	74.9	0.6	2
	中学校	11歳	455	78.5	78.5	0.0	2.8	77.5	1.0	2
		12歳	725	82.3	82.2	0.1	3.8	81.3	1.0	3
		13歳	736	<u>86.2</u>	85.9	0.3	4.0	84.9	1.3	1
	高等学校	14歳	743	<u>89.1</u>	89.0	0.1	3.2	88.2	0.9	2
15歳		409	<u>91.3</u>	91.1	0.2	2.3	90.3	1.0	1	
16歳		415	91.5	91.5	0.0	0.4	91.3	0.2	14	
17歳		416	<u>92.6</u>	92.5	0.1	1.1	91.9	0.7	1	
女	幼稚園	5歳	412	62.2	61.8	0.4	-	61.4	0.8	1
	小学校	6歳	437	64.8	64.8	0.0	3.0	64.4	0.4	2
		7歳	441	67.7	67.8	-0.1	2.9	67.3	0.4	3
		8歳	453	70.8	70.4	0.4	3.0	69.9	0.9	1
		9歳	450	73.4	73.6	-0.2	3.0	72.6	0.8	2
		10歳	445	76.6	76.8	-0.2	3.0	75.8	0.8	2
	中学校	11歳	450	79.9	80.1	-0.2	3.1	79.2	0.7	3
		12歳	721	82.9	83.1	-0.2	2.8	82.2	0.7	2
		13歳	725	84.3	84.5	-0.2	1.2	83.9	0.4	5
	高等学校	14歳	746	<u>85.3</u>	85.2	0.1	0.8	84.9	0.4	3
		15歳	408	<u>86.1</u>	86.1	0.0	0.9	85.4	0.7	1
		16歳	416	85.7	86.0	-0.3	-0.4	85.7	0.0	18
		17歳	415	<u>86.2</u>	86.2	0.0	0.2	85.8	0.4	5

(注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。(過去最高値と同数の場合も含む。)

2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の2.8cmは、78.5cm(24年度の11歳の数値) - 75.7cm(23年度の10歳の数値)で求められる。

4 30年前（親の世代）との比較

本県の身長・体重・座高の平均値は、親の世代である30年前の昭和57年度と比較すると、女子の6歳、16歳、17歳の体重及び女子の6歳の座高の数値が下回っており、男子の6歳の座高が同じ数値となっている。それ以外の各項目においては男女とも全ての年齢で親世代より数値が上回っている。

① 身長

男子の身長を比較すると、最も差のある年齢は12歳で3.5cm親の世代より高い。
女子では8歳で2.3cm親の世代より高い。

② 体重

男子の体重を比較すると、最も差のある年齢は17歳で4.5kg親の世代より重い。
女子では11歳で2.7kg親の世代より重い。

③ 座高

男子の座高を比較すると、最も差のある年齢は13歳で2.4cm親の世代より高い。
女子では11歳で1.5cm親の世代より高い。

表4 30年前の身長・体重・座高の平均値との比較

区分	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			座高 (cm)			
		平成24年度 A	昭和57年度 B	差 A-B	平成24年度 C	昭和57年度 D	差 C-D	平成24年度 E	昭和57年度 F	差 E-F	
男	幼稚園	5歳	111.4	110.3	1.1	19.5	19.3	0.2	62.4	62.0	0.4
	小学校	6歳	116.9	116.3	0.6	22.0	21.3	0.7	65.1	65.1	0.0
		7歳	123.4	121.6	1.8	25.0	23.8	1.2	68.2	67.4	0.8
		8歳	129.0	127.7	1.3	28.2	27.1	1.1	70.7	70.3	0.4
		9歳	134.8	132.7	2.1	32.1	29.6	2.5	73.2	72.3	0.9
		10歳	140.3	137.9	2.4	36.1	33.2	2.9	75.5	74.4	1.1
		11歳	146.8	143.5	3.3	40.5	37.0	3.5	78.5	76.9	1.6
	中学校	12歳	154.1	150.6	3.5	46.5	42.6	3.9	82.3	80.2	2.1
		13歳	161.3	158.1	3.2	51.4	48.1	3.3	86.2	83.8	2.4
		14歳	166.6	164.2	2.4	56.9	53.8	3.1	89.1	87.2	1.9
	高等学校	15歳	169.5	167.1	2.4	61.3	57.8	3.5	91.3	89.5	1.8
		16歳	170.4	169.8	0.6	62.9	61.2	1.7	91.5	90.7	0.8
		17歳	172.0	170.0	2.0	66.0	61.5	4.5	92.6	90.8	1.8
	女	幼稚園	5歳	111.1	109.7	1.4	19.3	19.1	0.2	62.2	61.5
小学校		6歳	116.4	116.1	0.3	21.5	21.6	-0.1	64.8	65.0	-0.2
		7歳	122.6	121.5	1.1	24.4	23.4	1.0	67.7	67.3	0.4
		8歳	129.1	126.8	2.3	27.7	26.3	1.4	70.8	69.8	1.0
		9歳	134.9	132.8	2.1	31.7	29.9	1.8	73.4	72.4	1.0
		10歳	141.5	139.5	2.0	35.7	33.8	1.9	76.6	75.2	1.4
		11歳	147.9	145.9	2.0	40.9	38.2	2.7	79.9	78.4	1.5
中学校		12歳	152.8	151.2	1.6	45.7	43.6	2.1	82.9	81.8	1.1
		13歳	155.7	154.4	1.3	49.1	47.5	1.6	84.3	83.2	1.1
		14歳	157.0	156.0	1.0	51.5	51.0	0.5	85.3	84.2	1.1
高等学校		15歳	157.6	156.7	0.9	53.7	52.9	0.8	86.1	85.1	1.0
		16歳	157.5	157.2	0.3	53.1	53.4	-0.3	85.7	85.1	0.6
		17歳	158.4	156.9	1.5	53.4	53.8	-0.4	86.2	84.9	1.3

図1 30年前（親の世代）の身長・体重の平均値との比較

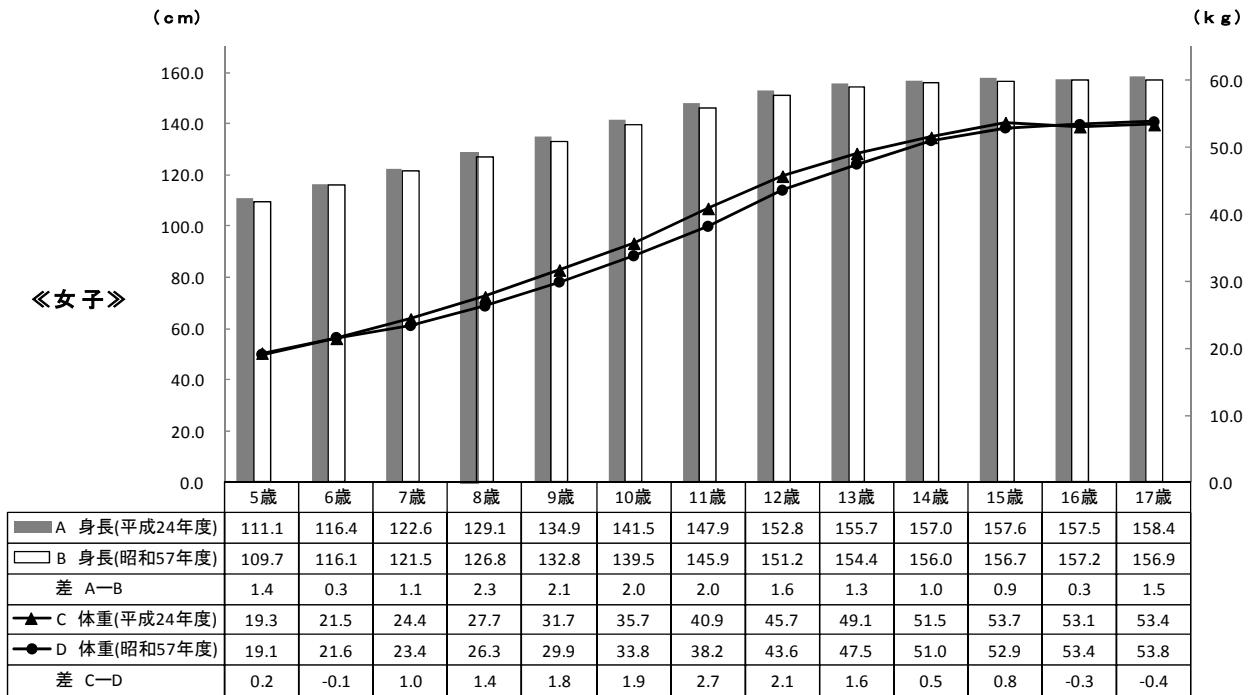
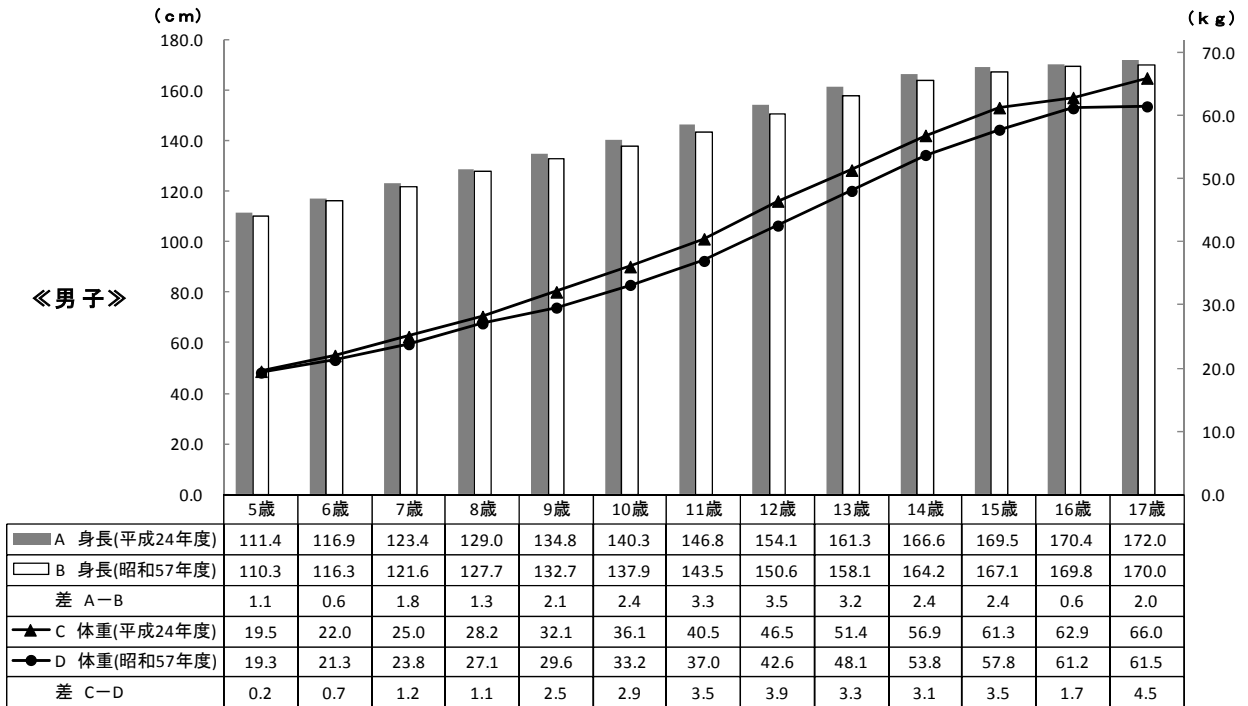


表5 身長に占める足の長さの割合

(単位：%)

区分	幼稚園	小学校						中学校				高等学校		
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	平成24年度 A	44.0	44.3	44.7	45.2	45.7	46.2	46.5	46.6	46.6	46.5	46.1	46.3	46.2
	昭和57年度 B	43.8	44.0	44.6	44.9	45.5	46.0	46.4	46.7	47.0	46.9	46.4	46.6	46.6
	差(A-B)	0.2	0.3	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	-0.1	-0.4	-0.4	-0.3	-0.3	-0.4
女	平成24年度 C	44.0	44.3	44.8	45.2	45.6	45.9	46.0	45.7	45.9	45.7	45.4	45.6	45.6
	昭和57年度 D	43.9	44.0	44.6	45.0	45.5	46.1	46.3	45.9	46.1	46.0	45.7	45.9	45.9
	差(C-D)	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	-0.2	-0.3	-0.2	-0.2	-0.3	-0.3	-0.3	-0.3

注：股下÷身長×100＝身長に占める足の長さの割合（四捨五入を行っている）

5 高等学校3年生の12年間の発育量

高等学校3年生（17歳）の幼稚園入園時（平成12年度に5歳）から12年間の発育量は、男子の身長が60.5cm、体重が46.0kg、女子の身長が48.0cm、体重が34.1kgとなっている。

- ① 年間発育量の大きい時期を見ると、男子は身長で小学校6年生から中学校1年生の間（8.4cm）、体重で小学校6年生から中学校1年生の間（7.8kg）となっており、女子は身長で小学校4年生から5年生の間（7.1cm）、体重で小学校4年生から小学校5年生の間（5.6kg）となっている。
- ② 年間発育量が最も大きい時期を親の世代と比較すると、男子の身長は1歳早く、男子の体重は2歳早く、女子の身長は1歳遅く、女子の体重は1歳早くピークを迎えている。

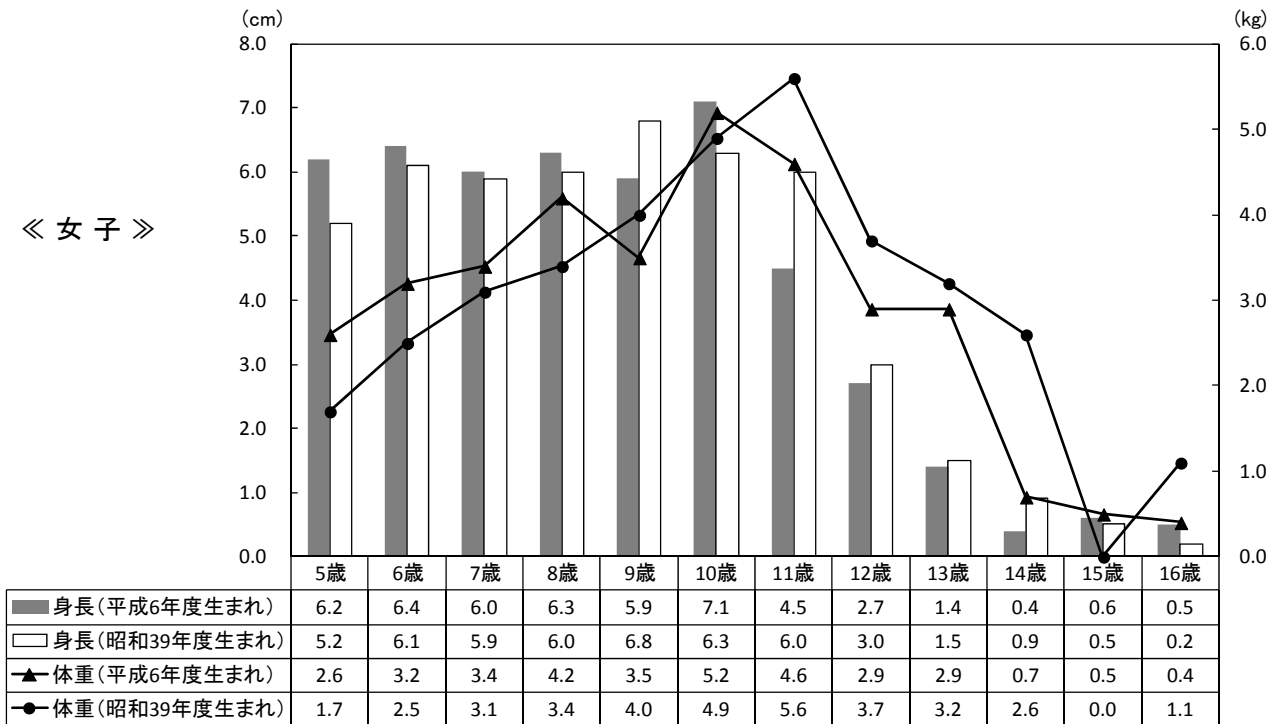
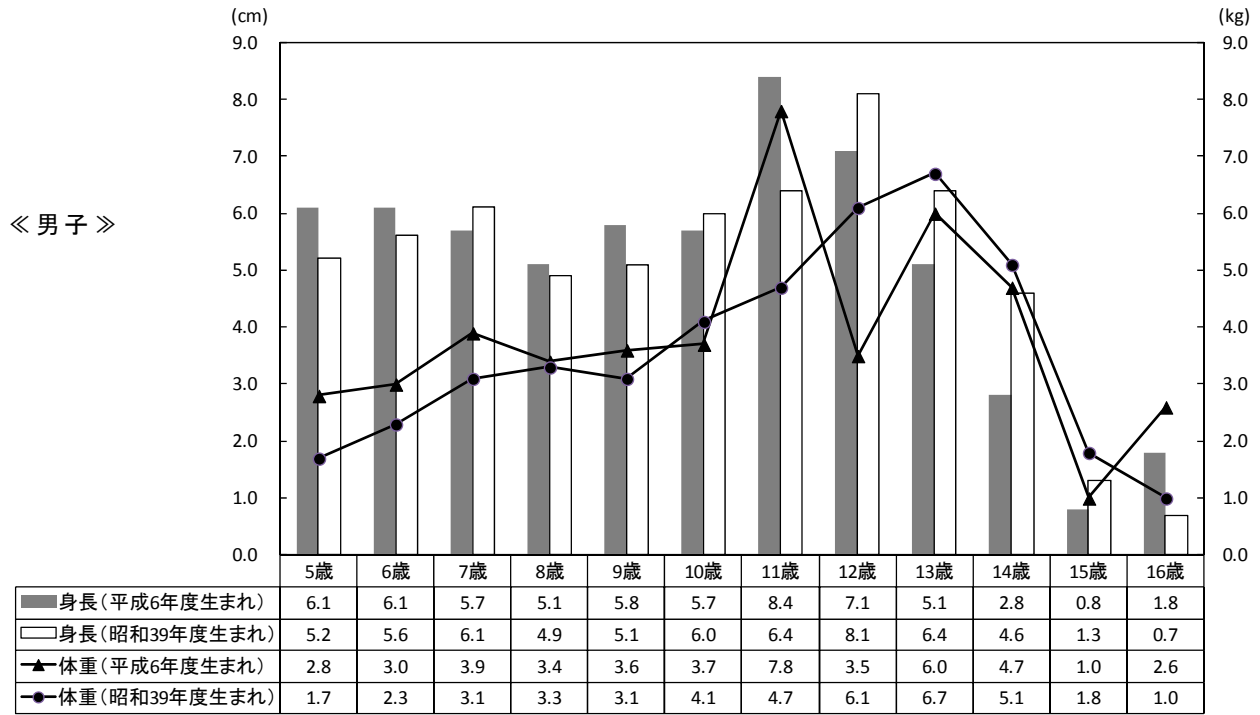
表6 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）

－ 平成6年度生まれ(平成24年4月時点17歳)と昭和39年度生まれ(昭和57年4月時点17歳)の比較 －

区分	当時	身長 (cm)				体重 (kg)				
		平成6年度 生まれ	年 間 発育量	昭和39年度 生まれ	年 間 発育量	平成6年度 生まれ	年 間 発育量	昭和39年度 生まれ	年 間 発育量	
男	幼稚園	5歳	111.5	6.1	109.6	5.2	20.0	2.8	18.5	1.7
	小学校	6歳	117.6	6.1	114.8	5.6	22.8	3.0	20.2	2.3
		7歳	123.7	5.7	120.4	6.1	25.8	3.9	22.5	3.1
		8歳	129.4	5.1	126.5	4.9	29.7	3.4	25.6	3.3
		9歳	134.5	5.8	131.4	5.1	33.1	3.6	28.9	3.1
		10歳	140.3	5.7	136.5	6.0	36.7	3.7	32.0	4.1
		11歳	146.0	<u>8.4</u>	142.5	6.4	40.4	<u>7.8</u>	36.1	4.7
	中学校	12歳	154.4	7.1	148.9	<u>8.1</u>	48.2	3.5	40.8	6.1
		13歳	161.5	5.1	157.0	6.4	51.7	6.0	46.9	<u>6.7</u>
		14歳	166.6	2.8	163.4	4.6	57.7	4.7	53.6	5.1
	高等学校	15歳	169.4	0.8	168.0	1.3	62.4	1.0	58.7	1.8
		16歳	170.2	1.8	169.3	0.7	63.4	2.6	60.5	1.0
		17歳	172.0		170.0		66.0		61.5	
	12年間の発育量			60.5		60.4		46.0		43.0
女	幼稚園	5歳	110.4	6.2	108.5	5.2	19.3	2.6	18.0	1.7
	小学校	6歳	116.6	6.4	113.7	6.1	21.9	3.2	19.7	2.5
		7歳	123.0	6.0	119.8	5.9	25.1	3.4	22.2	3.1
		8歳	129.0	6.3	125.7	6.0	28.5	4.2	25.3	3.4
		9歳	135.3	5.9	131.7	<u>6.8</u>	32.7	3.5	28.7	4.0
		10歳	141.2	<u>7.1</u>	138.5	6.3	36.2	<u>5.2</u>	32.7	4.9
		11歳	148.3	4.5	144.8	6.0	41.4	4.6	37.6	<u>5.6</u>
	中学校	12歳	152.8	2.7	150.8	3.0	46.0	2.9	43.2	3.7
		13歳	155.5	1.4	153.8	1.5	48.9	2.9	46.9	3.2
		14歳	156.9	0.4	155.3	0.9	51.8	0.7	50.1	2.6
	高等学校	15歳	157.3	0.6	156.2	0.5	52.5	0.5	52.7	0.0
		16歳	157.9	0.5	156.7	0.2	53.0	0.4	52.7	1.1
		17歳	158.4		156.9		53.4		53.8	
	12年間の発育量			48.0		48.4		34.1		35.8

- (注)：1. 年間発育量とは、例えば、平成6年度生まれ（平成24年度17歳）の「5歳時」の年間発育量は、平成13年度調査6歳の者の体位から平成12年度調査5歳の者の体位を引いたものである。
2. 昭和39年度生まれの5歳と6歳の数値は、都道府県集計が行われていないため、全国値による。
3. 下線は最大年間発育量を示す。

図2 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）



6 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率が、男女とも全年齢で全国平均を上回っている。

① 肥満傾向児

男子では、17歳の出現率が15.42%で最も高率となっており、全国値との差では9歳が最も大きく、5.20ポイント上回っている。

女子では、15歳の出現率が14.37%で最も高率となっており、全国値との差では15歳が最も大きく、5.86ポイント上回っている。

② 痩身傾向児

男子では、11歳の出現率が2.91%で最も高率となっており、全国値との差では17歳が最も大きく、1.11ポイント下回っている。

女子では、12歳の出現率が3.27%で最も高率となっており、全国値との差では15歳が最も大きく、1.63ポイント下回っている。

表5 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

単位 (%)

区 分	年 齢	肥満傾向児						痩身傾向児						
		平成24年度 (青森県)	平成23年度 (青森県)	差	全 国	差	本県	平成24年度 (青森県)	平成23年度 (青森県)	差	全 国	差	本県	
		A	B	A-B	C	A-C	順位	D	E	D-E	F	D-F	順位	
男	幼稚園	5歳	3.48	3.18	0.30	2.41	1.07	9	0.23	0.41	-0.18	0.36	-0.13	25
	小学校	6歳	9.09	6.53	2.56	4.09	5.00	2	0.46	0.15	0.31	0.27	0.19	12
		7歳	9.83	8.47	1.36	5.58	4.25	2	0.26	0.39	-0.13	0.49	-0.23	32
		8歳	11.35	13.65	-2.30	7.13	4.22	4	1.01	0.83	0.18	1.06	-0.05	20
		9歳	14.44	13.53	0.91	9.24	5.20	3	1.30	0.99	0.31	1.44	-0.14	27
		10歳	13.82	15.46	-1.64	9.86	3.96	4	1.81	2.02	-0.21	2.49	-0.68	35
		11歳	11.90	12.58	-0.68	9.98	1.92	13	2.91	2.07	0.84	3.38	-0.47	29
	中学校	12歳	12.48	15.61	-3.13	10.67	1.81	15	1.76	2.01	-0.25	2.40	-0.64	33
		13歳	10.91	12.78	-1.87	8.96	1.95	10	1.24	1.57	-0.33	1.66	-0.42	31
		14歳	11.08	12.14	-1.06	8.43	2.65	7	1.00	1.39	-0.39	1.79	-0.79	39
	高等学校	15歳	15.08	14.00	1.08	11.41	3.67	4	2.82	1.27	1.55	2.35	0.47	10
		16歳	14.42	15.27	-0.85	10.25	4.17	3	1.25	1.66	-0.41	1.89	-0.64	31
		17歳	15.42	13.94	1.48	10.91	4.51	1	0.53	2.14	-1.61	1.64	-1.11	43
女	幼稚園	5歳	4.91	6.30	-1.39	2.36	2.55	2	0.14	0.64	-0.50	0.35	-0.21	39
	小学校	6歳	7.06	5.36	1.70	4.37	2.69	4	0.68	1.91	-1.23	0.57	0.11	16
		7歳	9.31	8.80	0.51	5.23	4.08	2	1.38	0.17	1.21	0.60	0.78	2
		8歳	9.02	8.77	0.25	6.09	2.93	7	1.95	1.02	0.93	1.16	0.79	2
		9歳	12.90	13.19	-0.29	7.23	5.67	1	1.42	0.50	0.92	1.85	-0.43	36
		10歳	12.90	11.77	1.13	7.73	5.17	2	2.25	2.91	-0.66	2.61	-0.36	24
		11歳	10.46	12.15	-1.69	8.61	1.85	11	2.67	2.07	0.60	3.12	-0.45	24
	中学校	12歳	12.12	10.74	1.38	8.64	3.48	4	3.27	3.43	-0.16	4.18	-0.91	28
		13歳	10.72	12.14	-1.42	7.90	2.82	4	2.14	2.46	-0.32	3.64	-1.50	44
		14歳	11.27	8.18	3.09	7.36	3.91	2	1.86	2.04	-0.18	3.22	-1.36	40
	高等学校	15歳	14.37	13.10	1.27	8.51	5.86	2	0.80	0.97	-0.17	2.43	-1.63	45
		16歳	9.64	5.96	3.68	7.74	1.90	13	3.23	2.55	0.68	2.12	1.11	6
		17歳	8.37	9.99	-1.62	8.18	0.19	23	1.48	1.74	-0.26	1.85	-0.37	27

注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。
2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

B 健康状態

1 疾病・異常の被患率等別の状況

疾病・異常を被患率等別にみると、いずれの学校区分においても「むし歯（う歯）」が高い。

表8 疾病・異常の被患率等

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校
90%以上					
80%以上～90%未満					
70～80					
60～70			むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯）
50～60				むし歯（う歯）	
40～50		むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者		
30～40					
20～30					
10～20			鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患
1～10	8～10		歯・口腔のその他の疾病・異常		歯垢の状態 歯肉の状態
	6～8	鼻・副鼻腔疾患			
	4～6	歯列・咬合	眼の疾病・異常 耳疾患	歯列・咬合 歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常	耳疾患 歯列・咬合
	2～4	耳疾患 その他の皮膚疾患	栄養状態	眼の疾病・異常 耳疾患 歯垢の状態 心電図異常 その他の疾病・異常	眼の疾病・異常 蛋白検出の者
	1～2	眼の疾病・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 その他の疾病・異常	歯列・咬合 歯垢の状態 歯肉の状態 アトピー性皮膚炎 心電図異常 ぜん息 その他の疾病・異常	栄養状態 アトピー性皮膚炎 蛋白検出の者	歯・口腔のその他の疾病・異常 心電図異常 その他の疾病・異常
0.1～1	0.5～1	栄養状態 ぜん息 言語障害	口腔咽喉頭疾患・異常 蛋白検出の者	せき柱・胸郭異常 心臓の疾病・異常 ぜん息	せき柱・胸郭異常 アトピー性皮膚炎 ぜん息
	0.1～0.5	口腔咽喉頭疾患・異常 歯垢の状態 せき柱・胸郭異常 心臓の疾病・異常	難聴 せき柱・胸郭異常 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 顎関節 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 顎関節 栄養状態 その他の皮膚疾患 結核 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患
0.1未満			顎関節	結核 腎臓疾患 言語障害	言語障害
該当者なし		顎関節 歯肉の状態 蛋白検出の者 寄生虫卵保有者 腎臓疾患	結核 寄生虫卵保有者		
非公表		裸眼視力1.0未満の者			裸眼視力1.0未満の者

- (注) 1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。
 2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者等である。
 3. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
 4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
 5. 「その他の疾病・異常」とは、いずれの調査項目にも該当しない疾病・異常である。
 6. 「非公表」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、または回答校が1校以下のため統計数値が公表されていないものである。

2 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等のうち主なものについて、その推移をみると表9のとおりである。

表9 主な疾病・異常等の推移

(単位：%)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾鼻 ・ 副 鼻 患腔	疾口 患腔 ・咽 異 喉 常頭	(む うし 歯)	の蛋 白 検 者出	心 電 図 異 常	保寄 生虫 有者卵	ぜ ん 息
幼稚園	平成14年度	27.8	5.8	11.7	4.9	72.6	0.3	…	-	0.5
	平成20年度	X	3.1	9.5	1.4	64.7	0.6	…	-	1.2
	平成21年度	X	7.5	X	2.2	60.5	-	…	-	0.6
	平成22年度	X	2.0	5.5	0.7	49.5	-	…	-	1.8
	平成23年度	3.0	0.7	1.6	0.9	55.0	X	…	-	0.7
	平成24年度	X	3.7	6.6	0.2	49.2	-	…	-	0.5
	全 国	27.5	2.6	3.5	1.5	42.9	0.6	…	0.1	2.3
小学校	平成14年度	38.2	3.9	15.3	1.8	82.2	0.2	0.5	0.0	0.6
	平成20年度	43.1	4.8	15.1	1.3	74.3	0.3	1.5	0.0	2.0
	平成21年度	42.8	5.0	16.8	1.0	71.6	0.6	1.5	0.0	2.4
	平成22年度	42.4	5.1	16.1	1.3	68.8	0.8	2.3	-	2.2
	平成23年度	39.8	5.2	14.3	0.7	69.5	0.8	1.7	-	2.6
	平成24年度	40.1	5.5	16.0	0.9	66.9	0.5	1.5	-	1.5
	全 国	30.7	5.4	12.2	1.3	55.8	0.8	2.3	0.2	4.2
中学校	平成14年度	57.2	2.9	11.1	0.7	78.0	0.9	1.4	…	0.2
	平成20年度	64.5	3.1	15.6	1.9	68.8	1.7	1.9	…	1.8
	平成21年度	X	4.1	14.9	0.4	64.9	1.2	2.1	…	1.0
	平成22年度	65.5	3.1	16.8	0.5	62.5	2.3	2.7	…	2.1
	平成23年度	62.7	3.3	13.6	0.5	55.2	1.8	2.6	…	1.2
	平成24年度	65.1	2.4	15.2	0.4	55.8	1.8	2.6	…	0.8
	全 国	54.4	3.6	11.4	0.7	45.7	2.5	3.3	…	3.0
高等学校	平成14年度	68.3	1.8	8.8	0.9	86.6	1.4	1.8	…	0.3
	平成20年度	68.1	2.5	X	0.8	71.0	2.4	1.6	…	0.7
	平成21年度	X	2.0	12.2	0.7	73.4	1.7	1.6	…	0.8
	平成22年度	X	0.7	5.2	0.3	70.6	1.7	2.0	…	0.9
	平成23年度	X	1.2	13.3	0.6	69.0	2.5	2.1	…	0.7
	平成24年度	X	5.0	11.0	0.4	67.8	2.7	1.4	…	0.9
	全 国	63.8	1.9	8.6	0.5	57.6	2.7	3.0	…	1.9

- 注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。
 2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
 3. 寄生虫卵保有者については、5歳から8歳のみ実施している。
 4. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

(1) 鼻・副鼻腔疾患

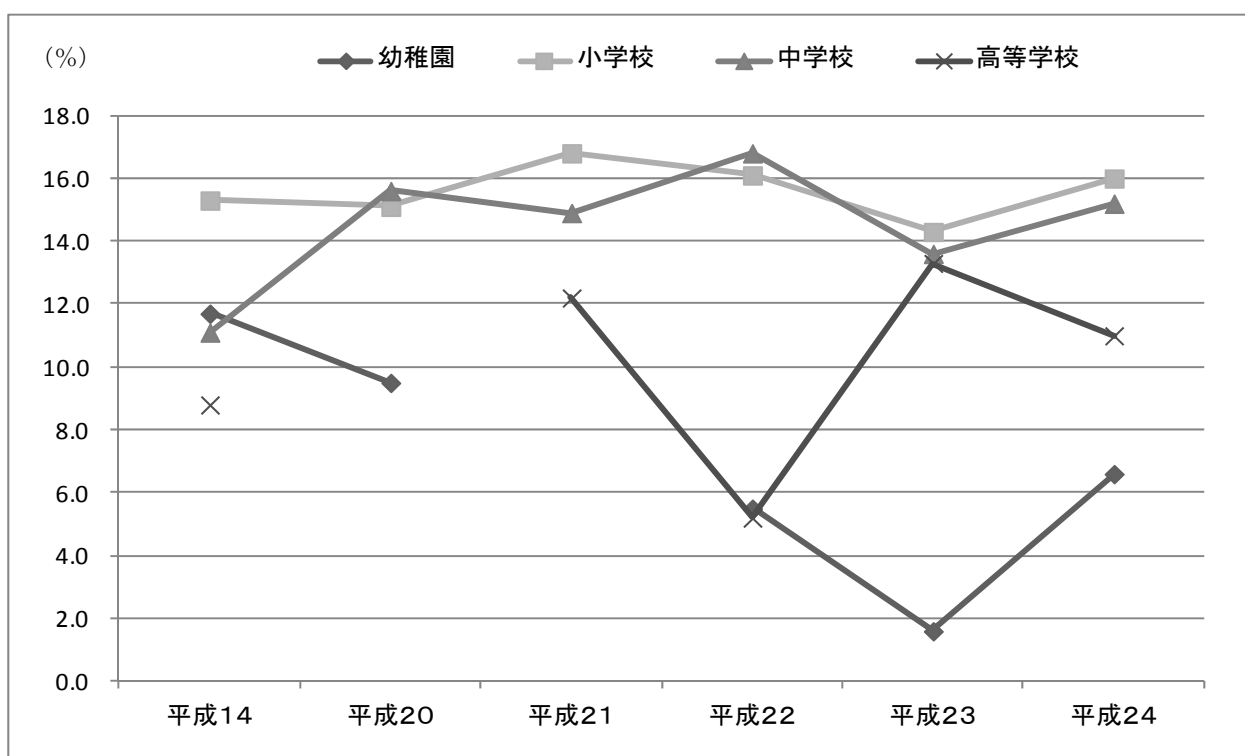
- ① 鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎など）の被患率は、全学校区分で、全国平均を上回っている。
- ・幼稚園では6.6%（全国平均3.5%）
 - ・小学校では16.0%（全国平均12.2%）
 - ・中学校では15.2%（同11.4%）
 - ・高等学校では11.0%（同8.6%）
- ② 10年前と比較すると、小学校、中学校及び高等学校の学校区分において、その割合が増加している。

表 10 鼻・副鼻腔疾患の者の推移

(単位:%)

区 分	平成14	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	全国平均 平成24
幼稚園	11.7	9.5	X	5.5	1.6	6.6	3.5
小学校	15.3	15.1	16.8	16.1	14.3	16.0	12.2
中学校	11.1	15.6	14.9	16.8	13.6	15.2	11.4
高等学校	8.8	X	12.2	5.2	13.3	11.0	8.6

図 3 鼻・副鼻腔疾患の者の推移



(2) むし歯（う歯）

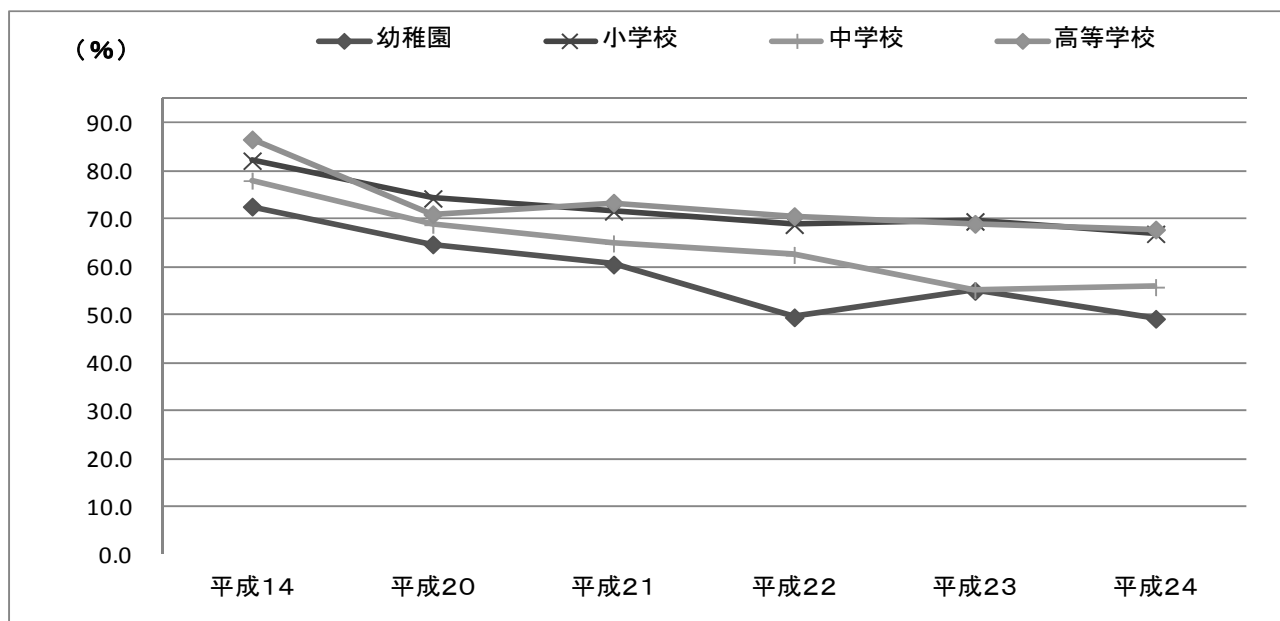
- ① むし歯の被患率（処置完了者を含む）は、全学校区分で全国平均を上回っている。
- ・幼稚園では49.2%（全国平均42.9%）
 - ・小学校では66.9%（同55.8%）
 - ・中学校では55.8%（同45.7%）
 - ・高等学校では67.8%（同57.6%）
- ② 10年前と比較すると、全学校区分においてその割合は減少している。

表11 むし歯（う歯）の被患率の推移

(単位:%)

区 分		平成14	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	全国平均 平成24
幼稚園	計	72.6	64.7	60.5	49.5	55.0	49.2	42.9
	処置完了者	23.4	22.5	21.3	17.8	18.9	13.4	17.3
	未処置歯のある者	49.2	42.2	39.2	31.7	36.0	35.8	25.6
小学校	計	82.2	74.3	71.6	68.8	69.5	66.9	55.8
	処置完了者	33.1	30.8	32.1	28.3	30.6	30.7	28.4
	未処置歯のある者	49.0	43.5	39.5	40.4	38.9	36.2	27.4
中学校	計	78.0	68.8	64.9	62.5	55.2	55.8	45.7
	処置完了者	41.2	35.6	35.2	33.5	29.8	31.2	25.6
	未処置歯のある者	36.8	33.2	29.7	29.0	25.4	24.5	20.1
高等学校	計	86.6	71.0	73.4	70.6	69.0	67.8	57.6
	処置完了者	45.2	34.3	37.7	33.1	32.9	32.9	32.3
	未処置歯のある者	41.4	36.7	35.7	37.4	36.1	34.9	25.3

図4 むし歯（う歯）の被患率の推移



(3) 心電図異常

- ① 心電図異常の者の割合は、小学校、中学校及び高等学校のいずれの学校区分においても全国平均を下回っている。
- ・小学校では1.5% (全国平均2.3%)
 - ・中学校では2.6% (同3.3%)
 - ・高等学校では1.4% (同3.0%)
- ② 10年前と比較すると、小学校及び中学校及の学校区分において、その割合は増加している。

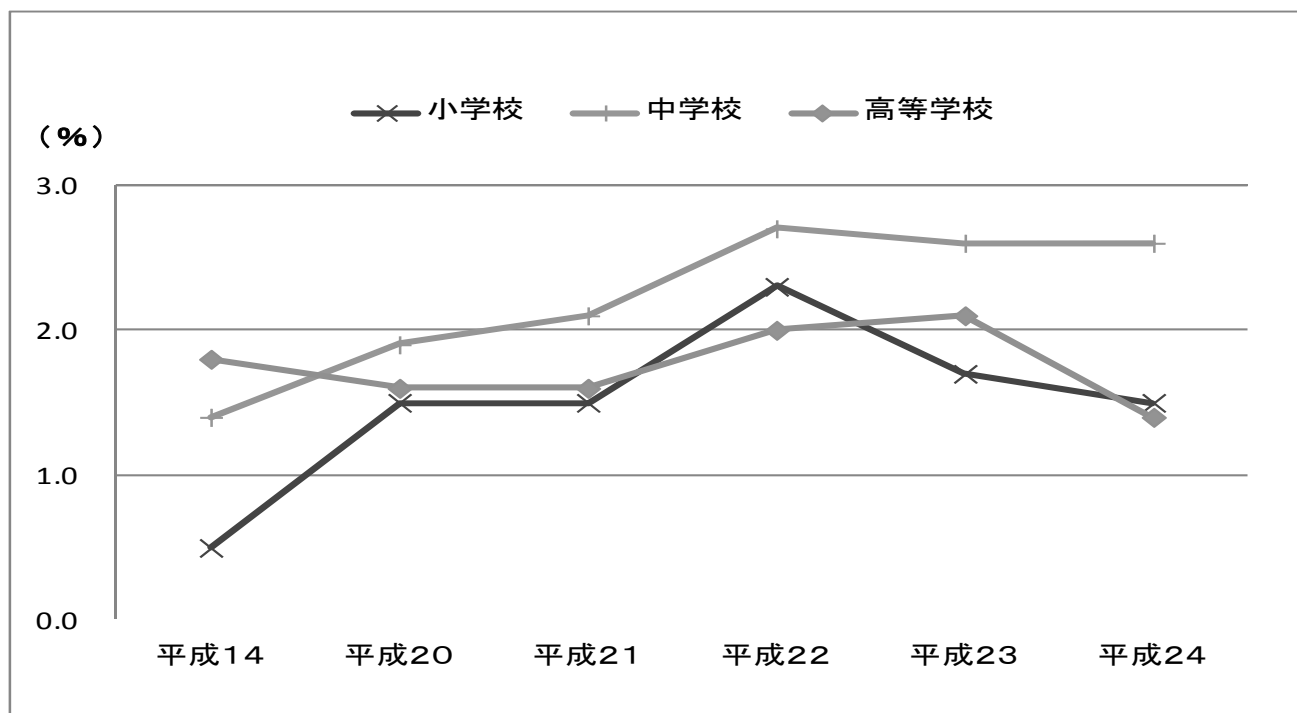
表 12 心電図異常の者の推移

(単位:%)

区 分	平成 1 4	平成 2 0	平成 2 1	平成 2 2	平成 2 3	平成 2 4	全国平均 平成 2 4
小 学 校	0.5	1.5	1.5	2.3	1.7	1.5	2.3
中 学 校	1.4	1.9	2.1	2.7	2.6	2.6	3.3
高 等 学 校	1.8	1.6	1.6	2.0	2.1	1.4	3.0

(注)心電図の調査は、6歳、12歳及び15歳のみ実施している。

図 5 心電図異常の者の推移



(4) ぜん息

- ① ぜん息の者の割合は、全学校区分で全国平均を下回っている。
- ・幼稚園では0.5% (全国平均2.3%)
 - ・小学校では1.5% (同4.2%)
 - ・中学校では0.8% (同3.0%)
 - ・高等学校では0.9% (同1.9%)
- ② 10年前と比較すると、小学校、中学校及び高等学校の学校区分において、その割合は増加している。

表 13 ぜん息の者の推移

区 分	平成14	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	(単位:%)
							全国平均 平成24
幼 稚 園	0.5	1.2	0.6	1.8	0.7	0.5	2.3
小 学 校	0.6	2.0	2.4	2.2	2.6	1.5	4.2
中 学 校	0.2	1.8	1.0	2.1	1.2	0.8	3.0
高 等 学 校	0.3	0.7	0.8	0.9	0.7	0.9	1.9

図 6 ぜん息の者の推移

